



同窓会会報

発行
福島成蹊高等学校
同窓会
福島市上浜町5-10
電話 (522) 2049
発行人 渋谷 スズイ
印刷所 シーアイエー(株)



第五代理事長
故 山田広助 氏



第三代理事長
故 山田英二 氏

英二氏(昭和62年に急逝)の体育館建築の夢は、広助氏による多額のご寄付を基に平成3年に完成

思い出の母校シリーズ② 県内随一の規模を誇る山田記念体育館

会員の皆さまには清々しく、希望に満ちた素晴らしい年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

平成二十年度同窓会総会が、六月二十九日(日)福島グリーンパレスにおいて理事長下田穰一郎様、学校長金子昭七先生を初め、諸先生方、並びに多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、総勢百名を超える参加者のもと盛大に開催されましたこと、心より御礼申し上げます。

総会の席上、議事に関しては決算案、予算案等が満場一致で可決されました。その後懇談会に移り、平成四年度卒業の阿部賀子さんによるフルートコンサートがあり、「愛のあいさつ」をはじめ数曲が演奏されました。まるで別世界に入ったような穏やかな時間が過ぎ去り大変感動いたしました。

また、久しぶりに恩師鈴



同窓会への変わらぬご理解と
ご協力を

同窓会会長 渋谷 スズイ

木次男先生、片平克子先生方を囲み、想い出話に時が過ぎるのを忘れ、楽しく過ごせました。

学校行事である「桃李祭」が九月七日(日)に行われ、前回同様「花」売りのお手伝いをしました。先生方、PTA、生徒さんたちとの連携がとれ充実感を味わうことが出来ました。次回の「桃李祭」も期待しております。

平成二十一年六月二十八日(日)に同窓会総会が福島グリーンパレスで開催されますので多くの会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

平成二十一年四月より中高一貫教育が始まります。

今後とも同窓会への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

母校は「成蹊」と

言える誇り



ごあいさつ

理事長 下田 穰一郎

福島成蹊高等学校同窓会
会員の皆様には、ご健勝に
てお過ごしのこと心からお
慶び申し上げます。又常日
頃は福島成蹊学園の運営に
特段のご協力をいただき心
から感謝申し上げます。
さて既に高承の通り本
学園は四月から中高一貫校
とし新たな出発をいたすこ
ととなりました。本学園の
目指す中高一貫は、ただ単
に高校と中学を繋ぐだけ
ではありません。人格形成
の十三才から十八才迄の
大切な時期に、中高六年の
間に次世代を担う子供達を
確りと教育し、物事の判断
を誤ることのない、世の中
に役立つ人になるような
教育カリキュラムも先生方
のこ



成蹊は弛まぬ前進を

学校長 金子 昭七

同窓会のご支援を頂き、
本校は発展し続けておりま
すことを報告いたします。
平成二十一年度からは中
学校を開校し、中高一貫教
育により大きな飛躍を為す
べく決意を固めておりま
す。また、共学五年目とな
り、男子生徒が校内にいる
ことも自然な状態になって
参りました。今、男女の特
性が生かされ活気ある学校
となっております。
一方、女子校時代の名残
を残す女子のみの普通コー
スも、今年度が最後となり、
次年度からは名実共に全面

共学となります。
特進・普通両コースは、
それぞれの特徴をよく發揮
し、進路・自主活動等で多
くの成果を上げ、県下に「成
蹊」の名を大きくアピール
しています。このことは中
学校の開校にも大きな勢
いと希望を与えてくれる
ものと思っております。
中学校の開校と全面共学
は、成蹊の未来をより輝く
ものにしていきたいです。そ
のためには弛まぬ努力で前
進することが求められます。
今後とも同窓会の一層のお
力添えをお願いいたします。

努力により申し分のないも
のが出来上がったと自負い
たしております。
今、私学を取巻く環境は、
少子化、経済情勢の悪化と
相俟って非常に厳しいもの
があります。私達理事会も
先生方と共に懸命に本学園
の発展に努力する所存であ
ります。どうか同窓会の皆
様におかれましては、母校
の発展のためにお力をいた
だきたいと思っております。
どうか応援して下さい、衷心
より伏してお願ひ申し上げ
る次第であります。
末筆ながら同窓会会員の
皆様方の益々のご健勝とご
隆昌を心から念じ申し上げ
あいさついたします。

中学校開校を記念し、 ミネラルウォーターを製造

国交省が福島市内を流れる荒川を水質日本一の河川
に認定しましたが、(学) 福島成蹊学園は、荒川の源流(鶯
倉山湧水)から取水した天然水による500ml ペットボ
トル飲料水を製造しました。水質分析結果によると、
PH 7 の中性水で純度が極めて高く、臭気もないため、
お茶やコーヒーなどの溶解する物質の味を妨げないそ
うで、飲料用としては最適と言えるようです。勿論、
スポーツなどの際にそのまま飲んでも美味しくいただ
けます。

学園では、学校訪問や各種スポーツ大会、更に環境
保全活動等の際にこれを供したいとの考えです。学園
事務局のお話では、例えば同窓会関係の集まりの際、
荒川の水を賞味しながら故郷「福島」、そして母校「成



蹊」を感じ取って
いただけるとすれば協
力したいとのこと
です。催しの折
りは遠慮なくご相談
ください。

なお、この水は環
境省から「平成の名
水百選」にも選定さ
れております。

新幹事

10組	9組	8組	7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組
鳴黒	渡渡	渡武	小兒	渡紺	丹昆	丹小	津菅	長齋	田小
原澤	辺辺	邊藤	林玉	邊野	治	治針	田野	島藤	中柳
真紗	由絵	榮智	沙公	美	まり	真孝	亜麻	智野	聡佳
耶	由	由	紀	紀	き	乃夫	美奈	乃花	祐子
美華	佳里	美里	美里	美望	子				

平成21年度 総会のお知らせ

日 時／平成21年6月28日(日)
午前10時30分～
場 所／福島グリーンパレス
内 容／総会
アトラクション
懇親会
会 費／3,000円

事務局からのお願い!!

★クラス会終了後の名簿を同窓会の事務局に提出して下さい。2,000円の通信費を補助しております。

★皆様の活躍を会報に紹介したいので、情報をお寄せ下さい。

“成蹊” 新たな旅立ち

中学校校舍竣工「第1期工事」

今年四月に開校する福島成蹊中学校の校舎が市内腰浜町内に完成しました。

(昨今十一月完成。位置は高校校舎から東側に約三百五十メートル。)

福島成蹊中学校は、福島成蹊高等学校との間における併設型中高一貫教育を行うための学校として設置されたもの、校舎は鉄筋コンクリートRC造、一部鉄骨造三階建て、延床面積千六百四十二平方メートル。

予定では、平成二十一年度(平成二十一年)に故山田広助元理事長から寄贈された茶室を中学校敷地内に移築(授業の中で「茶道教育」を

実施)、さらに平成二十二年度に校舎増築工事が行われ、一連の工事は少なくとも今後二年は続くこととなります。

半世紀以上を経て復活

平成十九年春、福島県へ提出した福島成蹊中学校の設置趣意書には、『昭和二十二年に当時の福島成蹊女子高等学校に福島成蹊中学校が併設され、七回にわたって卒業生を送り出した歴史があります。その後、当時の中学校設置の目的は、「併設中学校に於いては人格の完成を目指し、平和な国家及び社会の形成者として真理と正義を愛し、個人の人格を尊び勤労と責任を重んじ、民主的で文化的な国家を建設して世界の平和と人類の福祉に貢献する」となっています。この目的は、現在の本校の教育目標とも合致するものであり、根底に流れる精神は共通のものとして六十年間受け継がれて来ているのです。私どもはこのような意味からも、旧福島成蹊中学校の精神は連綿として今に受け継がれ、新たな時期が求められていると捉えました。そして復活すべき新たな時期が「今」なのであり、



更に、

「東京大学や医学部などの難関大学現役合格へと導く首都圏型中高一貫教育」を掲げ、全国的視点からすると教育劣勢の地と言われて久しい福島の教育を変革する、

ここに新生「福島成蹊中学校」の設置を決意したのであります。旧中学校を卒業した同窓生の皆様は勿論、同窓生全体にとりまして今回の復活はこの上ない喜びとするものではないでしょうか。

新生「福島成蹊中学校」の目的と特色

〓 九十余年の伝統と首都圏型先進教育の融合〓

福島成蹊中学校は、単なる「三年間の学校」ではありません。中高一貫教育を行うための学校であり、首都圏等で確実な成果を挙げ、東京都区内の小中学生はその四割弱が受験していると言われる教育形態の学校です。

- 【教育目標】
- 校訓「桃李不言下自成蹊」の下、次代を担う人材になるべく、
- 1 リーダーとして必要な感性を養い、品位と生活力を育む。
 - 2 リーダーとして必要な知的好奇心を育む。
 - 3 リーダーとして必要な

変革しなければならぬとの一念において取り組もうとされているものです。我が母校が、私学だからこそ、そして成蹊だからこそ出来る指導力(伝統と先進教育の融合の上に)を発揮し、必ずや福島県教育力向上に寄与されることは間違いありません。

中学校入試が行われ、第一期生が誕生

第一期生が誕生



文化継承者としての意識と教養、国際感覚を育む。

【具体的な取り組み】

夢を切り開くための「学力」と「戦う心」「気概」を育むため、六年の期間を有効に活用します。そのための「六ヶ年三段階プログラム」は次のとおりです。

・前期教育期間

(中一・二のびのび)

粘り強く学習に取り組むことの出来る「意欲」と

「習慣」づくり

・中期教育期間

(中三・高一 充実)

大学受験のための「基礎学力」の完成

・後期教育期間

(高二・三 飛翔)

十分な演習を通して「難関大学現役突破の実力」の完成

が印象的でした。入学手続者は四十六名でしたが、九十余年の伝統を有する母校に新たな歴史を刻むであろう生徒たちに心からエールを送らないではいられません。

なお、中学校入学式は高等学校入学式と一緒に四月七日(火)に執り行われる予定です。



平成二十年度進路状況について ～ 県内唯一、防衛医科大学校合格 ～

進路指導部長 二 瓶 貴 之

今年度は、新普通コースの完成年度となり、三年間の取り組みの成果が着実に実り、普通コースの進路実績は大躍進を果たしました。中でも、国公立大学では、推薦入試において福大、県立医大看護学部、宇都宮大などの国公立大に九名、私大においては、コースの目標校である東北学院大、東北福祉大をはじめ、東京薬科大、日大薬学部、東北薬科大の難関薬学部などにも合格を果たし、昨年以上の合格者を輩出することができました。

さらに就職面では、昨年から秋からの社会情勢が不安定な最中で苦戦が大変心配されましたが、二年次からの就職希望者指導が実を結び、十二月中に就職希望者二十一名全員が内定をいただくことができました。

特進コースでは、超難関である防衛医科大学校に県内で唯一の合格者を出しました。又、学費免除などの特典のある神奈川大給費生試験に十三名（県内での合格は本校の二名のみ）、白鷗大特待生試験に二十三名（内、全額免除一名）、さらに文部科学省管轄外の各種大学の一次試験に多数の合格者を輩出することができました。

今後は特進・普通コースにおいて一般入試の合格発表が二月中旬をピークになされてまいります。また、国公立大の入試はこれから本番となり、二月二十五日の前期、三月七日から中期、三月十日からの後期試験と三月中旬まで続いてまいります。

今後も生徒の志望進路実現のために、教職員一同、精一杯指導してまいります所存です。

平成 20 年度 2 月 13 日現在の進路状況表（一部の学校のみ記載）

国 公 立 大	10 名	福大 4 名、県立医大看護学部 1 名、宇都宮大 1 名、山形大 1 名、宮城大 1 名、会津大 1 名、高知工科大 1 名
文部科学省管轄外の大学校など	11 名	防衛医科大学校 1 名、航空保安大学校 3 名、海上保安大学校 3 名、防衛医科大学高等看護学院 3 名、海上保安学校 1 名
私 立 大	113 名	東京薬科大、日赤秋田看護大、成蹊大、武蔵野大、工学院大、文教大、神奈川大、日本大、亜細亜大、国際医療福祉大、学習院女子大、日本歯科大、岩手医科大歯学部、実践女子大、東北学院大、東北福祉大、東邦大、白鷗大、帝京大、城西大、明星大、昭和音楽大、他
短 期 大 学	45 名	福島学院大短大部 24 名、桜の聖母短大 14 名、郡山女子大短大部 2 名、仙台青葉学院短大、他
看護医療系専門学校	12 名	大原看護 5 名、会津看護 1 名、福島看護 2 名、ポラリス看護 1 名、昭和大看護専門 1 名、他
専 門 学 校	47 名	郡山健康科学、仙台医療秘書福祉、エコール辻東京、他
就 職 内 定 者	21 名	自衛隊、新福島 JA 伊達みらい JA、会津 JA、ヨークベニマル、ニッテク、マクサムコーポレーション、NOK、アサヒ電子、日立オートモティブ、他

平成 19 年度 合格状況（一部の学校のみ記載）

国 公 立 大	55 名	東京医科歯科大、東北大、横浜国大、東京農工大、北大、埼玉大、奈良女子大、電気通信大、新潟大、宇都宮大、茨城大、福島大、山形大、首都大東京、横浜市立大、福島県立医大看護、高崎経済大、宮城大、会津大、釧路公立大、秋田県立大
文部科学省管轄外の大学校など	46 名	気象大学校、防衛大学校 19 名、航空保安大学校 9 名、海上保安大学校 4 名、水産大学校 1 名
私 立 大	299 名	昭和大医学部、杏林大医学部、慶応大、早稲田大、東京理科大、明治大、青山学院大、中央大、法政大、立教大、成蹊大、津田塾大、立命館大、東京女子大、日本女子大、明治学院大、東京農大、日本大、専修大、東洋大、他
短 期 大 学	38 名	福島学院大短大部 20 名、桜の聖母短大 8 名、郡山女子大短大部、いわき短大、他
看護医療系専門学校	43 名	大原看護 9 名、会津看護 3 名、太田看護 8 名、ポラリス看護 2 名、福島看護 10 名、他
専 門 学 校	72 名	郡山情報ビジネス、仙台コミュニケーションアート、福島介護、仙台医療秘書福祉、東京 IT 会計、他
就 職 内 定 者	33 名	事務関係 6 名、販売関係 8 名、製造関係 13 名、サービス・その他 4 名、公務員内定者 2 名



盛況だった同窓会総会

昭和二十六年中学部卒

佐藤みね

準備委員で中学部が一緒だった松本さんからの誘いで私達五人が出席出来た事は幸せでした。委員会に出席した松本さんにお伴して協議が終わる迄の時間を警備員さんの説明を受けながら校内を見て回ったりして、旧校舎とは雲泥の差を目を見張るばかりでした。体育館では特にそうでした。旧校舎には天井の低い講堂が有り朝礼も体操もそこです。いよいよ新校舎が建つと聞き喜び勇んで予定地の草むしりに行きまして、その場所では運動会を一度しただけで卒業です。同窓会の会場には先生も居りませんが、皆親しく思えて懐かしく満足した一日でした。

準備ご苦労様でした。

昭和四十四年度卒

五十嵐雅子(旧姓斎藤)

卒業以来、初めて同窓会に参加させていただきました。総会も無事済み懇親会に移り、久しくお会いする恩師の先生方と楽しくお話ができ、昔と相も変わらず先生方の、元気で若々しいお姿を拝見し、とても頼もしく嬉しくなりました。

当時、金子先生は私が二年生の時の新任で、若さに溢れ、とても人気者でした。現在は校長になられ、卒業してから長い時間が過ぎたのを感じました。

同じテニスの方々は私の後輩ばかりでしたが、まるで同じ教室で同じ時間をすごした同級生のような錯覚になり、不思議な気がしました。

昔の思い出話が得意な義で、楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

昭和四十六年度卒

安倍房子

同窓会、卒業後初めて参加させていただきました。きっかけが同窓会副会長の小林さん(小学校担任の妹さん)からの電話です。バレー部後輩・高校時代からの友人たちとグリーンパレスでフルート演奏を聴きながら美味しい食事。三十六年前へ戻れた楽しいひと時

でした。役員、幹事の方々

本当にありがとうございました。私の入学当時、新任で現在の金子校長先生がバレーボール顧問、次回はぜひその当時のメンバーに連絡を取り出席したいと思えます。

昭和六十年度卒

六戸啓子

同窓会に初めて、参加をして、本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。タイムスリップをし、何十年も前にもどって、若返って帰路につきました。

参加する前は、億劫という気持ちもありました。昔話に大きな花を咲かせましよう。多忙な毎日を送っているから、尚のこと。ありがとうございました。

ピタミン剤をいただいた様な時間でした。

フルート奏者 阿部賀子

私は平成四年に、成蹊女子高等学校を卒業し、音大へと進学をしました。

成蹊を卒業して十六年ですが、その後成蹊は女子高から男女共学、そして来年から中学校を併設され十六年の間にさまざまに発展している事に驚きと同時にうれしく思います。

さて今回初めて同窓会総会でのフルート演奏を依頼され演奏をした訳なのです。



が私は高校時代、同期生の中でたった一人だけの音大進学を希望していただけに、当時の担任の先生をはじめ陰からサポートして下さった先生方に感謝の気持ちを込め、演奏させて頂きました。

少しは恩返しが出来たのか分かりませんが、来て下さった先生方、そして皆様方に喜んで頂けてたら、とてもうれしく思います。

これからも成蹊同窓会が増々発展して行く事を、お祈り致します。

平成十九年度卒

八島明子

今回、初めて同窓会総会に参加し、非常に有意義な時間を過ごすことができました。初めての参加でとても緊張しましたが、和やか雰囲気、安心しました。

総会の後に行われた阿部賀子さんによるフルートのコンサートでは、きれいな音色に癒されました。そして同じ成蹊高校卒業で、大変ご活躍している方がいらつしやるということに感動しました。素敵な時間をありがとうございました。

活躍する同窓生

活き活き生きる

昭和四十一年度卒

羽田ミチ子

還暦を過ぎて今、自分らしく生きることを実行しています。仕事に励んでいる時から思いを、仕事を終えても輝いている自分になれることを。一昨年八月に念願の小さな小さなホールを建てました。沢山の人の出逢い、楽しみ、笑い会える場所にと。アロハホールと名付けました。そこで私は、ハワイアンフラを教えています。バンドのメロディに合わせてゆったり踊る幸せです。今、世界全体大不況の暗い世の中、前向きに生きるか後向きに生きるか、自分次第で選べます。悪い事も良い方向へと考える、その中で何か

パッチワークと人との想い

昭和三十五年度卒

保田美智子

福島を離れて二十三年間転転生活を送りて来ました。その時母の事を思い出して「人の為に」袋物作りを母に教えてもらったことにきずき、針仕事を始めたのが三十歳の時でした。

一番最初は子供が小学校で給食の時に使うマスク入の袋を五十分作って使っていたので喜んでいました。それがきっかけで友達三人でパッチワークを始め、その時はキルト綿もない時代で古布でなんでもやっていた代わりと思いきや、木目込み、造花、藤工芸と教室へ行って最終的に針仕事で自分に合っていることになり、パッチワークは三十年以上になります。福島に十五年以上は住んでいました。



一番驚いた事は母校が進



小さな楽しみを見つけて行く、ずつとこの考えで私は生きてきました。みんなで楽しめる現代の井戸端会議の場所をめぐり、庭に沢山の花を育てて、外のテニールで日光浴しながらのおしゃべり。アロハホールは、そういう所です。女性性が長寿でいられるのは、無駄なおしゃべり、(本当は無駄ではありません)誰かが言っているお話を、活き活きと生きているお手伝ができればと考えているこの頃です。

学に力をそそいで活躍していることを友達に聞きうれしく思いました。

私が通学している時は、私はのんびりやで勉強も針仕事もできないし嫌いで自由にしていましたが大人になり子育て中に気がつき、日々少しずつ努力しようとして自分言いつつ努力してきました。兄の勧めでパッチワーク展示会をして作品を見ていただいたのがきっかけで、中合友の会教室をとたのまれまして十三年になります。

今は東京へ展示会、講習会を見に行き、感動したり勉強しております。私の経験や知識が役立つなら自分の知っていることをすべての技術を何でも教えて行こうと思いきや、やっています。

仲間からも教えてもらうことが沢山あります。また同級生仲間とは花見や食事会など時には温泉旅行を楽しみ話に花をさかせ、元気をいただいております。

同窓会に出席してからは、皆々様から声をかけていただきありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いたします。



昭和三十六年卒、普通科一組(故太田先生)と二組(故西山先生)の初めての合同クラス会を計画、平成二十年六月二十一日、二十二日にホテルリステル猪苗代にて二十五名の参加で実施しました。

クラス替えがあっても三年間一緒にいられ、四十七年振りの再会となった人も数人おりました。

それぞれの近況報告後、宴会では、皆さんが楽しめる様にと、全員参加のゲームを実施、賑やかな声が、会場いっぱい飛び交い、時間が経つのも忘れ、大いに盛り上がり、高校生時代に戻った様な楽しい合同クラス会でした。

次回のクラス会は、話し合いの結果、各クラスごとで実施と決まり、お互いに、元気で再会出来る事を願って散会しました。

佐藤 トミ子

楽しかった合同クラス会

去る六月二十一日「ホテル・リステル猪苗代」で一泊の合同クラス会を開催しました。

四十余年ぶりに会う、懐かしい「顔」「顔」つい最近お会いした方々も、二十五名の参加者で青春時代に限り「ゲーム」をしたり「歌」を歌ったり至福の一時を過ごし、二年後の再会を約束しそれぞれ楽しかった思い出を胸に帰宅しました。

ご出席くださいました皆様ありがとうございました。

酒向 紀子

九月七日(日)二年に一度の文化祭「桃李祭」が行われました。天候にも恵ま

れ朝から多くの入場者が来訪しました。

同窓会も前回と同じく前庭で「切り花・鉢植え」販売のお手伝いをし、華をそえる事が出来ました。

また、郡山市田村町の真下カネ子様(昭和四十年卒)より数多くの手づくりの品をいただきました。ありがとうございました。

当日は、「同窓会室」を開放したところ「なつかしい顔」を拝見し、近況報告も出来ました。

これからも「桃李祭」に何か少しでも関わって行けたらと思います。



真下カネ子様の作品

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

1. 収入金額 1,567,842 2. 支出金額 1,369,106 3. 差引金額 198,736

収入の部

(単位: 円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
会費	1,248,000	1,240,000	△8,000	4,000 × 310人
預金利子	500	1,572	1,072	普通預金利子
雑収入	10,000	550	△9,450	
雑越金	325,720	325,720	0	前年度より繰越
合計	1,584,220	1,567,842	△16,378	

支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
事業費	700,000	375,791	△324,209	総会、研修会
会議費	60,000	61,435	1,435	役員会、幹事会
会報発行費	140,000	91,350	△48,650	会報第14号
協力費	150,000	142,152	△7,848	全国大会祝金、卒業記念品
交誼費	50,000	43,587	△6,413	慶弔費
通信費	80,000	40,360	△39,640	切手、名簿補助等
旅費	10,000	150	△9,850	
事務費	60,000	14,281	△45,719	印刷費等
特別積立費	300,000	600,000	300,000	基本積立
予備費	34,220	0	△34,220	
合計	1,584,220	1,369,106	△215,114	

特別積立金(平成20年3月31日現在) 12,042,831円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます。

平成20年5月17日

監事 酒井 幸子 杉内 文子

会務日誌

平成20年

4月5日(土) 役員会 総会について

4月12日(土) 定例役員会

4月19日(土) 第一回総会準備委員会

5月10日(土) 定例役員会

6月7日(土) 第二回総会準備委員会

14日(土) 第三回総会準備委員会

6月21日(土) 役員会総会役割分担

6月16日(月) 募参

6月29日(日) 同窓会総会

阿部 賀子フルートミニコンサート

7月12日(土) 総会反省会

8月9日(土) 定例会 桃李祭研修会について

23日(土) 臨時役員会

9月7日(日) 桃李祭参加

9月13日(土) 定例役員会

10月11日(土) 定例役員会 会報編集会議

11月8日(土) 定例役員会 会報編集会議

12月6日(土) 定例役員会 会報編集会議

平成21年

1月10日(土) 定例役員会

1月23日(金) 編集会議

2月13日(金) 定例会

20日(金) 臨時役員会

2月28日(土) 同窓会入会式

3月1日(日) 卒業式

※随時役員会編集会議を行っている。

退職される先生方

校長 金子 昭七
教諭 伊藤 裕夫
教諭 吉崎 昭央
AET ドリス・ダニエル

(平成二十一年三月三十一日付)

あとがき

編集委員を、お引き受けいたしました二年目、皆様に助けていただき十五号をお届け出来ることになりました。

反省することがたくさんありました。これからの役立てていきたいと思っています。